

ベトナム再エネ価格巡り企業が反発

2025 年 4 月 8 日 作成

カテゴリー ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム再エネ価格巡り企業が反発

ベトナム電力公社（EVN）は、2025 年 3 月に国内外の約 80 の再生可能エネルギー関連投資家と初の対話を実施した。この背景には、100 以上の太陽光・風力発電プロジェクトの事業者が、FIT 価格の遡及的見直しにより総投資額約 130 億米ドルに影響が及ぶことへの懸念を表明したことがある。

EVN は、政府の決議とベトナム商工省の報告を踏まえ、FIT 制度の有効期限後に検査合格証明書（CCA）を取得したプロジェクトに対し、売電価格の調整案を提示した。

この案に対し投資家側は強く反発し、FIT1・FIT2 価格適用の条件として CCA が法的に義務付けられていなかったと主張した。2023 年 6 月に施行された新たな商工省通達が初めてこの条件を明示したため、それ以前のプロジェクトに遡及適用するのは不当であると訴えている。さらに EVN の提示する「価格の暫定適用」は電力購入契約（PPA）に違反するとして、損害が生じた場合には EVN に補償責任があると主張した。

また、国家的な経済成長と再生可能エネルギー開発目標に鑑みて、EVN の対応はベトナム国内外の投資家の信頼を損ない、将来的な投資意欲にも影響を及ぼすと警鐘を鳴らしている。弁護士の見解でも、政府が約束した優遇措置は遵守されるべきであり、行政側の不備に起因する混乱の責任を企業に転嫁すべきではないとの見方が示されている。今後、ベトナム政府とベトナム商工省を含む関係当局との直接対話を通じて、投資家の利益を尊重しながら問題解決を図る必要があると考えられる。

以上